

## 発熱してけいれん！ どうする??

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門

特命助教 石田悠介

寒さが厳しくなり、体調を崩しておられる方も多いのではないのでしょうか。  
子どもが発熱するととても心配ですが、そんなときにけいれんが起こる事があります。  
熱性けいれんは 10 人に 1 人の割合で起こり、決して珍しいことではありません。  
けいれんしている子どもを前にした時、何をすればいいのか？どれくらい急ぐ必要があるのか？そもそも熱性けいれんとは何なのか？  
本日の講演では、そんなもしもの場面で、少しでも落ち着いて対応していただけるよう、熱性けいれんを中心にお話しさせていただきます。

## インフルエンザ その誤解を解く

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門

特命講師 竹田洋樹

毎年冬になると「インフルエンザ流行中！」「死者〇人」と報道が流れはじめ日本国中が浮足立ってきます。インフルエンザに対する恐怖のためです。もちろん病気は全部怖いし心配ですよ。でもいろんな病気があり、死亡率がもっと高い感染症もあるのに、なぜインフルエンザだけこのように恐れられていろんな関連商品が売られているのでしょうか？多分にインフルエンザに対する誤解があるのだと思っています。  
『恐怖はいつも「知らない」から湧いてくる』という言葉があります。その通りだと思います。  
今回はインフルエンザの基礎知識やテレビなどで報道されるインフルエンザに対する情報で誤解していることはないか？対策が果たして正しいのか？などについて皆さんと一緒に「知っている」状態になろうと思います。  
これでインフルエンザの時期にあわてないし怖くない・・・はずです・・・。